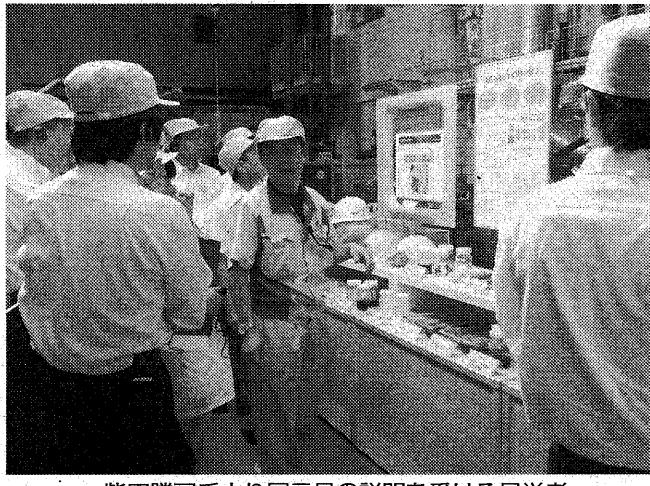


常圧溶解法による複合材料リサイクル装置の見学風景
(左側は展示品を見学中の参加者)

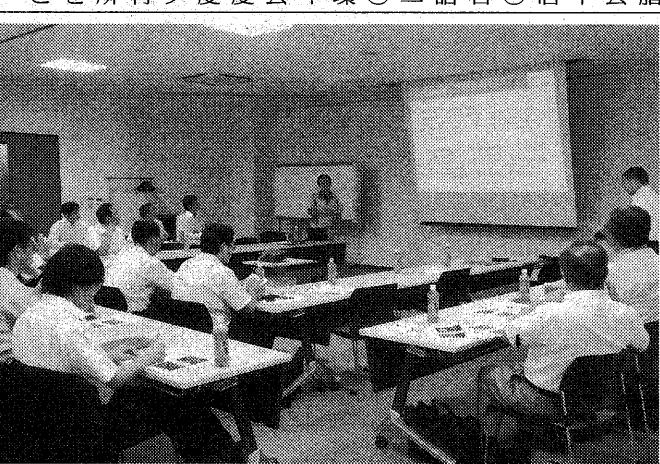


柴田勝司氏より展示品の説明を受ける見学者



カード機によって回収纖維を不織布状に加工した状態を示す展示
(上) 上列が炭素纖維、溶解回収された樹脂、溶媒、充填材など

日立化成のFRPリサイクル技術 合樹協が見学会を実施



「第1回リサイクル技術見学会」技術説明の会場風景
(右端は司会を務めた国友秀夫合樹協事務局次長)

合樹協会
(東京都千代田区鍛冶町一丁目九八号)
九八号八〇三番環境・リサイクル部会は、本年度から、高度なリサイクル技術を有する事業所の見学会を実施することになり、その第一回として去る九月二日正門前に集合のうえ下館事業所大會議室に案内された。

最初に、協会事務局の国友秀夫事務局次長が環境・リサイクル部会について簡単な説明を行った後、国友次長の司会により、若尾尚史部長(アイカ工業機環境安全部課長)が過去二年間二回位のベースで、国内のリサイクル関連施設の見学会を開催することになり、その第一回として日立化成四名が参加して日立化成工業(株)の「FRPリサイクル実用化試作設備」の見学会を実施した。

当日十三時に試作設備がある日立化成工業(株)筑波総合研究所下館事業所(茨城県筑西市大字小川二五〇〇電話〇二九六一二八二一一番)で、熱硬化性樹脂のロットプランを販売させていた。その後も気温の高い猛暑の中を参加した熱心な関係者に謝意を表すと共に、「環境・リサイクル部会では、熱硬化性樹脂の常圧溶解法による複合材料リサイクル装置の見学風景(左側は展示品を見学中の参加者)

リサイクルをテーマに、これまで10年以上わたって研究活動を続けているが、今年度がその第一回として日立化成四名が参加して日立化成工業(株)の「FRPリサイクル実用化試作設備」の見学会を実施することになり、その第一回として日立化成四名が参加して日立化成工業(株)の「FRPリサイクル実用化試作設備」の見学会を実施した。

柴田勝司氏は、日立化成工業(株)の「常圧溶解法による各種複合材料のリサイクル技術」は、経済産業省の①(2002年度循環型社会構築促進の会社概況(事業内容、製造・研究拠点、主要グループ会社、技術開発補助事業、②(2003年度地域新規産業創造技術開発補助事業など)を行った。

柴田勝司氏は、日立化成工業(株)の「常圧溶解法による各種複合材料のリサイクル技術」は、経済産業省の①(2002年度循環型社会構築促進の会社概況(事業内容、製造・研究拠点、主要グループ会社、技術開発補助事業、②(2003年度地域新規産業創造技術開発補助事業など)を行った。

複合材リサイクルの常圧溶解法

柴田主管
研究員

技術の詳細と特徴説明

と事業の展開、今後の重点事

「常圧溶解法による各種複合材料のリサイクル技術」につ

いて約一時間にわたる講演を行った。

R車両窓枠等の再商品化例等

織機、計量機、カード機、クリップレイヤー等)の開発、J

県の(株)国土社が、日立化成工

業(株)の「常圧溶解法」の技術

を予定しており、今回同様に

協会のホームページでも告知

するが、皆さんから多くの

関係者にPRして欲しい!要旨」と述べると共に当日のスケジュールを説明する挨拶を行った。

続いて、筑波総合研究所

サイクル技術グループの柴田

勝司主導研究員が、約二〇分間にわたり日立化成工業(株)の会社概況(事業内容、製造・研究拠点、主要グループ会社、技術開発補助事業、②(2003年度地域新規産業創造技術開発補助事業など)を行った。

技術開発補助事業、②(2003年度地域新規産業創造技術開発補助事業など)を行った。

技術開発補助事業、②(2003年度地域新規産業創造技術開発補助事業など)を行った。